



同窓会報



北陵

会報 第27号

● 発行者 ●
栃木県立真岡北陵
高等学校 同窓会
● 編集 ●
同上編集委員会
● 印刷所 ●
こだま印刷

会長に就任して



同窓会会長
小坂 利雄

平成十四年四月より同窓会会長に就任いたしました小坂であります。宜しくお願い申し上げます。さて本校が芳賀郡立農業学校から幾多の変遷を経て、間もなく一〇〇周年を迎えようとしています。私共が在学した戦争末期の学校は軍国主義教育一色でした。青年前期の多感な時代を何かに追い立てられるように毎日を過ごしたものです。そのような中で軍隊に現役志願したり、特許に志願したり、陸軍の学校に入校したりいたしました。半世紀が過ぎた現在、

民主主義の進展により、今の生活が当たり前のようになり、このような時代になれたのも戦後の同窓生が大変な時代を乗り越えて今日を築いてくれたからこそと深い敬意を表すものです。今回、会長挨拶の寄稿依頼を受け、何を書いたらよいのか迷いましたが、常日頃から私の思っていることを申し上げて挨拶といたします。それは「個人」と「公」のことです。今は死語にしまった「公」に尽くすという言葉がありました。いろいろな会議での発言

の中でも個人優先で打算的な内容のものが時々見受けられます。戦前は極端ですが「滅私奉公」という教育を受けました。そんな教育の反動で、現在の「個人」の尊重が絶対的な考え方になったのだと思います。教育は「個人」の為だと言えませんが、「個人」と「公」を連携して考えることが正しいと思っております。

現在の若者は「個人」と「公」のけじめがつけられず、常に「個人」が先行しているように感じています。「個人」は無論大切ですが、「個人」を越えたものが存在することを考え、知り、目的を持って生きていくこ

とではないかと私達年代は考えます。今、教育基本法の見直しが行われようとしています。このような意志がいくらかでも理解されれば幸いと願っています。自然と共に生きる農業人には、地域の環境を守ったり、社会を愛する心が育まれ、「公」も十分思慮の中に入れて行動できる心が培われるものです。各地域にあつて、我が同窓の諸兄弟は常に第一線で活躍しています。若い力こそが世の中を改革する力です。一層のご健闘を祈る次第です。会長就任の挨拶には大変粗文で恐縮ですが、ご容赦の程、お願いいたします。



21世紀の北同青
青年部長
平成二年度
鶴見 英樹

同窓会本役員の先輩方、事務局の先生方、又同窓生の皆様方には、日頃より暖かいご指導、ご支援を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

初めに、題目にあります「北同青（ほくどうせい）」につきましては、ご存じかと思いますが、北は北陵の北。同は同窓会の同。青は青年部の青の三文字を組み合わせた、役員同士の団結を深める意味を持っています。今年度の青年部活動では、役員会（親睦会）をはじめ、研修旅行では、小雨の中、福島県で「りんご狩り」を実施し、素晴らしい景色も見られ満足でした。学校祭では、晴天ではありませんでしたが、冷たい風に吹かれ、寒

い中、青年部役員一人一人が、北同青（同窓会青年部）特製「焼きそば」を焼き、七百食を完売させました。毎年、夏の恒例「いかだ下り」が昨年度は台風の影響で中止になり、「今年度こそ！」と張り切っていました。が都合により参加が出来ませんでした。私も今年度で同窓会青年部の部長を引き受けて、五年が過ぎ去ろうとしています。来年度より新しい役員体制には、新しい役員体制には、これから「21世紀の青年部」をモットーに、伝統ある同窓会青年部を築いてくれる事を願っています。あと数年後には創立百周年を迎えますが、それに相応しい青年部役員が受け継いでくれる事は大変喜ばしいことです。今まで築き上げられた校風を、伝統を守り、長く引き継いでもらいたいと願

過去・現在・未来



学校長
高根澤 久國

本校は、芳賀郡立農業学校として創設以来九十五年を迎えようとしています。

昨年四月に石川前校長の後任として着任以来、様々な機会を通じて多くの同窓生の皆様とお会いし、本校の歴史の重みを実感致しました。

一万五千有余名の同窓生が芳賀郡は元より、栃木県の発展のため尽力した成果の上に、本校教育が成り立っていることを痛感しております。

明治・大正・昭和を経て、平成七年には総合選択制専門高校として新たな出発をした本校ですが、

バブル経済崩壊後の混沌とした我が国の社会情勢の中で、二十一世紀を生きていく人材を育てるために、新たな本校教育を構築していく必要に迫られております。

創設当初は、三年制の農業自営者養成学科のみでしたが、その後時代の要請に応じ、終戦直後には女子部を設置し、さらには家庭科の設置や、小貝・上三川・二宮・芳賀の四分校の廃止を経て、昭和三十八年には農業科・畜産科・食品化学科・生活科・機械科への大幅な学科転換をしました。その後、併設されていた

真岡工業高校の独立や、学科名や定員の大幅な変更を経て、先ほど述べましたとおり、平成七年に総合選択制専門高校として真岡北陵高等学校の第一歩を踏み出しました。

教育界のみならず、不易と流行という言葉がよく使われる昨今ですが、不易とは時代を超えても変わらないもの、つまり、不変の価値を有するものと考えられます。ここでは、たぶん不変の理念や思想のことだと解釈することが出来ます。

本校の校訓として、今日あるを感謝し最善をつくすがあります。

現在の教職員が一丸となつて、同窓生諸氏の後輩の教育に精進したいと考えております。つきましては本校教育に対する益々のご理解とご支援とを深基より御願いたしますと存じます。

近い将来、本県では最も少子化が進むと予測されている芳賀郡市にあつて、本校教育のキーワードは地域との連携であると考えます。

最後の一年となりましたが、この五年間の同窓会青年部を運営してきて、たくさんの方の力を借り、楽しませて頂きました。同窓会本会の先方をはじめ、事務局の先生方には、大変感謝しております。本場にありがとうございました。これから同窓会青年部のご発展をご祈念致します。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

同窓会各位の皆様には今後とも青年部にご支援、ご協力、ご指導の程をお願い申し上げます。

叙勲おめでとう

叙勲の栄に 浴して



昭和十八年度卒
海老原 良 夫

平成十三年十一月九日
教育功労者として、東京
国立劇場において、勲五
等瑞宝章の栄に浴し、文
部科学大臣代理から勲記
勲章の伝達を受け、午後
皇居豊明殿にて、天皇陛
下から拝謁とお言葉を賜
り、光栄の極みでありま
した。

受賞は私が教育現場三
十五年六ヶ月、教育長四
期十四年、約半世紀に及
ぶ歳月を教育界に尽力を
した功績によるものと思
われます。

教育長在任中の後半は



叙勲の栄に 浴して

昭和二十年年度卒
星 野 義 治

平成十四年四月二十九日、
地方自治功労として勲五等
瑞宝章の叙勲の栄に浴し、
福田県知事より勲記勲章の
伝達を受け、五月十日、宮
中に参内春秋の間に於いて
天皇陛下に拝謁を受け、光
栄の極みでありました。

受賞は私が永らく地域公
共のため尽力した功績によ
るものと思われま。

私の農学校時代は厳しい
軍時下であり、勤労奉仕や
軍事教練が主で二年生の夏

走馬燈のように頭を駆け
めぐります。

昭和十六年十二月八日

の朝、いつもの様に登校
すると、校舎外の黒板に
日米開戦の報が大きく書
かれてありました。「い
よいよやるんだ」大きく
呼吸をした事を昨日の様
に思い浮かびます。

昭和十七年（二年生）

皆様からの推薦により退
任まで次の役職に在りま
した。
・栃木県町村教育長会
会長
・関東甲信越静町村教育
長会 会長
・全国町村教育長会 常
任理事（三人）
当時の文部次官が奇し
くも私の自治会に疎開を
し、地元小学校から中学
（旧制）に、そして帰京
した。――何度か次官室
を尋ね、指導を頂きまし
た。

昭和十八年（三年生）

私達の二年先輩の人から
十二月繰り上げ卒業。進
学希望者は、三月の試験
まで登校指導を受けまし
た。

議長就任おめでとう

議員活動 二十八年



昭和二十六年年度卒
橋 本 寛 治

私は農家の跡取りとし
て、当時の農家の長男が
そうであったように、本
校に入学し、昭和二十七
年三月の卒業以来、半世
紀余りが経過いたしました。
米麦を中心とした農業
経営から昭和四十年代に
は養豚を含めた複合経営
の導入を図ってきました。
食料増産のため、陸田に米
を作った時代は四割減反
の現在と比べて隔世の感
がしております。

私は農家の跡取りとし
て、当時の農家の長男が
そうであったように、本
校に入学し、昭和二十七
年三月の卒業以来、半世
紀余りが経過いたしました。
米麦を中心とした農業
経営から昭和四十年代に
は養豚を含めた複合経営
の導入を図ってきました。
食料増産のため、陸田に米
を作った時代は四割減反
の現在と比べて隔世の感
がしております。

新農業士誕生

農業士に なつて



昭和四十年年度卒
大 島 浩

あの緊張の一月八日、
県知事公館に於いて家内
と共に福田知事より認定
書を授与され、早くも一
年が過ぎ、この間の各種
の会議や事業の多さにと
まどいながらも債務の重
大さを痛感してきました。
また、県内各地のすばら
しい先輩方と同じく農業
を志す仲間と出会い語り

あ、緊張の一月八日、
県知事公館に於いて家内
と共に福田知事より認定
書を授与され、早くも一
年が過ぎ、この間の各種
の会議や事業の多さにと
まどいながらも債務の重
大さを痛感してきました。
また、県内各地のすばら
しい先輩方と同じく農業
を志す仲間と出会い語り

特に昨年五月の臨時議
会では、議長に推挙され
ました。かつて昭和六十
三年に一年ほど副議長の
経験がありましたが、議
長職は初めてのことであ
り、日常生活も一変しま
した。

行政関係の会議や催し
ごと、祝賀会や記念式典
本会議や常任委員会以外
の議会関係の会合など、
ほぼ毎日何らかの公務が
あり、春先の総会時、さ
らには忘年会や新年会シ
ーズンには掛け持ちの懇
親会等も多々あり、古希
を間近にした体にはきつ
いこともあります。

昨年十二月には、北関
東自動車道の安全祈願祭
が真岡市の長田地区で開
催されました。道路公団
民営化の議論や厳しい財
政事情などから全線開通
は平成十九年ごろになり
そうです。東京を基軸と
して北関東三県に伸びる
常磐、東北、関越自動車
道は連携軸となる北関東
自動車道の完成によって
大いに利便制が高まっ
てきます。



昭和27年 文化祭風景



昭和14年 開墾実習風景



昭和42年度体育祭
入場行進風景

優良農家紹介

魅力ある農業を

目ざして



昭和四十八年度卒
柳田 秀夫

私は、昭和四十八年度に本校を卒業し、五年間の会社勤めの後、就農をしました。

両親が水稲、苺、茄子の栽培をしていましたので、就農二年目に連棟ハウス十五アールを建て、早生種の苺である宝交、そしてレイコと順に栽培を進めてまいりました。その後作として、アンデスメロン、紅小玉スイカを作り、また単棟ハウス

設けて、労力の軽減を図っています。また約半年間に及ぶ苺苗の育苗につきましては、桶受けナイヤガラ育苗システムを行って、苗の病気対策と労力の軽減を図っています。今後の課題としては超減農薬栽培を目指して取り組んでみたいと考えています。作って安心。買って安心。食べて安心。常に消費者の方に生産者の顔が見えるような販売システムを確立して、外国産輸入物に打ち勝ち、先輩方が築かれてきた産地をしっかりと守り、後輩達に少しでも魅力ある農業を行わなければなりません。また、より多くの後継者が育ち、活気溢れる産地になるよう日々努力していかなくてはならないと考えています。

PTA会長挨拶



昭和四十二年度卒
宮崎 忠夫

「夢は厳しさに勝る」

不況の風が吹き続ける中、今年も就職は悪化の一途を進み続けています。北陵高の生徒達は知識学習と実習の両面から、日々努力している姿は私達保護者にも強く感じられます。農業クラブ、部活動が、県大会や全国大会での輝かしい成績は無言の力量を見せてくれました。こうした姿は、全生

も厳しかったのではないだろうか。その中で人々はこうなれば良い、こうしたいと言う夢を持ち、日々努力したに違いないのです。

我々保護者も子供達に親の夢を押しつけるのではなく、子供達自身の夢を見守り育てる手助けは何なのかを考える必要があると思うのです。

遅れましたが伝統ある北陵高卒業生の多くの先輩の方々には、各々の職場の要職にあり、今年も我が校生徒達の就職に對し多大なお力添えを頂き心から深く感謝を申し上げます。今後とも、宜しく御指導の程お願い申し上げます。

青年部活動報告

研修旅行

平成五年度卒
古谷 実樹

去る、十一月二十四日に同窓会青年部の事業の一環として研修旅行へ出掛けました。今年度も福島方面でしたが、その時期にしか出来ない事とを考え、参加者の皆さんにも「りんご狩り」の思い出を作ってもらいました。あいにく小雨の天候の中、また、寒い中でしたが、「もぎたてのりんご」も格別!!と感じました。昼食を会津の飯盛山付近でみなさんと輪になり一緒に食べました。昼食後



意味の方言だそうです。こうして研修旅行の一日の旅に幕を閉じる事が出来ました。

今回の研修旅行は果樹の美味しさを味わうことが一番の課題でした。これからの色んな果実のもぎたてを味わいたい気持ちです。

「北陵祭」の

同窓会青年部

平成五年度卒
小宅 信子

十一月九日に行われた「北陵祭」。昨年は、寒い雨の中の北陵祭でしたが、今年は晴天に恵まれ、今年は晴天に恵まれ、学校祭日和の中、毎年恒例の北同青（同窓会青年部）特製「焼きそば」を自分達の手で調理して販売をしました。今年は昨年のプラス一〇〇食を用意し、七〇〇食を完売することが出来ました。

今年の北陵祭では、人手が疎らで少なかったため、お客様を待たせる結果となってしまいました。あと何



年後かには、創立一〇〇周年記念を迎えます。その時も青年部から盛大な出店ができたらいと思っています。

これからも「北陵祭」の時は北同青特製「焼きそば」を宜しくお願い致します。

活躍する同窓生！

田所嘉徳氏 茨城県議に当選 斉藤 孝氏 二宮町助役に選任

平成十四年十二月に行われた茨城県議会議員選挙において、本校同窓生の田所嘉徳氏が下館選挙区において見事トップ当選で二選を果たしました。また、平成十五年一月には二宮町臨時町議会に

おいて、本校同窓生の斉藤孝氏が二宮町助役に選任されました。

ご両人におかれましては誠にありがとうございます。今後のご両人のますますの御活躍をお祈り致します。

農ク全国大会 最優秀受賞者へ 記念盾を授与！

同窓会では、在校生が部活動や農業クラブ等において顕著な成果を残した団体や個人に対して、栄誉をたたえようと一層の活躍を祈念して記念盾を授与する事業を行なっています。

今回、農業クラブは、全国大会において最優秀



賞を受賞したため、規定により、記念盾が受賞者全員に授与されました。

陸上部の一年間

二年一組 金 鋪 良 昭

私たち陸上部は、顧問の須藤先生、コーチの粕谷先生、そしてOBの先輩方のご指導のもと日々練習に励んでいます。

今年度は三年生が引退し、二年生が中心となつて男子四名、女子十一名と男子が少ないのですが男女ともに協力し合つて活動しています。

今年度の主な成績は男子の百メートルハードルで県総合体育大会で入賞



なトレーニングを行ってあります。全体での練習を増やすことにより、チームワークを高めることができます。そして、大会になるとみんなが声を出して選手を応援します。

いよいよ二年生も今年で最後の年になり、この時期の冬期トレーニングが重要になってきます。

冬期トレーニングは春や夏の大会に向けての準備期間なので、できる限り自分を追い込むことが大切です。特に私たちは全体的に見ると上半身の筋力が弱いので筋力トレーニングをより重視して行っていくと考えています。

上半身の筋力を鍛えれば、走っている時の上半身の振れが少なくなり、腕の振りも強くなるのですべての競技に共通していると思います。この時期のトレーニングを大事にして体作りをしていきたいです。

来年度は、記録はもちろんのこと、一つでも大きな大会に出場できるように努力していきたいです。最後に皆、一人一人の目標に向かって、今年より良い成績が残せるように応援よろしくお願いします。

全国にはばたく 農業クラブ!!

農業クラブを振り返って

農業クラブ顧問 野 沢 裕 治

今年度の農業クラブ活動は、生徒、職員そして地域とが連携を図り、実り多い成果を挙げることができました。特にプロジェクト発表につきましても、全国大会において最優秀賞及び農林水産大臣賞を受賞することができました。これは、昨年、四連覇を懸けて望んだ全国大会での悔しさをバネに、更に、地域と共に生徒が積極的に取り組んだ成果が評価されたものです。では、伝統ある本校農業クラブ活動の一年間を振り返ってみたいと思います。



○農機コース 上野公慈さん、
○食料コース 齊藤直樹さん
○農業コース 宮澤明彦さん、
○農機コース 三回日本学校農業クラブ

教育会館で行われた栃木県学校農業クラブ連盟大会では、プロジェクト発表会、意見発表会が行われ、本校の代表生徒も練習の成果を十分に発揮しました。

校内意見発表会では、各クラスから代表一名が選ばれて、計九名の生徒が出場し、日頃から考えている自分の意見を七分の持ち時間で十分に発表しました。どの生徒も大変すばらしく、しっかりとした発表内容でした。

その結果、最優秀賞に野沢美季さん、優秀賞に廣田真人さん、國母智範さん、増淵仁美さんがそれぞれ受賞しました。校内農業鑑定競技会では、各学科にわかれてコ

見発表A部門 國母智範さん、意見発表B部門 増淵仁美さん、意見発表C部門 廣田真人さんが優秀賞を受賞しました。栃木農業高校において行われた情報処理競技大会では、四名の生徒が出場しました。

その結果、宇野由夏さん、大塚通さんが優秀賞を受賞しました。

前橋市民会館及び勢多農林高校において行われた第五十三回関東地区学校農業クラブ連盟大会では、栃木県の代表として本校からプロジェクト発表二部門に出場しました。

その結果、プロジェクト発表A部門 金鋪良昭さん、プロジェクト発表B部門 伊藤沙也香さん、関口裕友さん、関谷由梨さん他七名が優秀賞を受賞しました。

京都で行われた第五十三回日本学校農業クラブ全国大会は、約六千五百名が参加して盛大に開催されました。出場する生徒は、夏休みもほとんど学校に来て練習に励んでいました。昨年はプロジェクト発表で四連覇を目指しましたが、惜しくも優秀賞に終わりました。しかし今年度はV奪還に成功しました。

その結果、プロジェクト発表A部門 金鋪良昭さん他十一名が最優秀賞並びに農林水産大臣賞。

十一月に行われた収穫祭はグラウンドにおいて野外炊飯(カレーライス作り)を行いました。このように、この一年

間、様々な活動をしてきましたが、生徒にとって大変意味のある活動内容であったと思います。大会の成績につきましてはプロジェクト発表を除いては必ずしも満足はいくものではありませんでしたが、今後更に努力していきたいと思っています。特に、来年度の関東大会は栃木県で行われますので、競技、それに大会運営にしっかりと望みたいと思います。

最後に、プロジェクト発表を除いては必ずしも満足はいくものではありませんでしたが、今後更に努力していきたいと思っています。特に、来年度の関東大会は栃木県で行われますので、競技、それに大会運営にしっかりと望みたいと思います。

全国大会に参加して

二年一組 金 鋪 良 昭

「みんなで京都に行こう!」県大会で誓ったこの言葉が実現するとは夢にも思っていなかった。関東大会を勝ち抜いて、十月三十日、三十一日に京都で行われる第五十三回日本学校農業クラブ全国大会に出場することができました。

励まされ、私の緊張感はずいぶん和らぐことができました。「結果は後から付いてくるものだから、楽しく自分の発表をしよう!」そんな思いが胸の中心に広がっていき、発表している時間はあっという間に過ぎてしまいました。発表が終わった後大きな拍手が聞こえ、達成感と安心した気持ち一杯でした。

結果は、最優秀賞をいただき、本当にびっくりしました。さらに、農林水産大臣賞も受賞することができてとても嬉しかったです。

今回はこの大会で私が頑張ったのは、学校で応援してくれた友達、私を支えてくれた仲間がいたからだと思っています。また、いろいろ指導して下さいました先生方ありがとうございました。

えてくれました。温泉で出会った他校の生徒とも心を通わせることができました。

私たちは、高校生活で貴重な体験をすることができたうえ、優秀賞までいただくことができました。関東大会は、私たちの心に残るものでしょう。大会に先立って、励まし、背中を押して下さった先生方、ありがとうございました。

農業鑑定競技会に出場にして

三年二組 上 野 公 慈

私は、十月二十九日から十一月一日にかけて京都で行われた第五十三回日本学校農業クラブ全国大会に出場しました。この農業鑑定競技会農業機械コースに出場しました。この農業鑑定競技会の部は、農業・園芸・林業・造園・生活科学・農業機械・食品化学・畜産・農業土木のコースに分けられており、日頃の成果を発揮するものです。当日は長い道のりを経て旅館に着くと、どんな

人達と一緒に泊まるのだらうと緊張気味に旅館の中へ入りました。同じ部屋の人達とは意外とすぐに打ち解けることができ、いろいろな話をし、刺激を受けました。そして大会当日を迎え、受付を済ませて中へ入ると大勢の人がいて、みんな必死で資料を開き最後の見直しをしている様子でした。しばらくすると競技が始まり、二十秒ごとの鐘

の音が聞こえてきました。無我夢中で問題を解いていたため、あつという間に終わってしまいました。結果発表は翌日だったため、その日は落ち着かず旅館に帰りました。

翌日大会速報を見ましたが、私は入賞していませんでした。「もう一度チャンスがあれば!」と思いましたが、良い経験させていただきました。最後に、大会に向けて一緒に資料を集めてくれたり、分からない事を熱心に教えて下さった先生方、ご指導ありがとうございました。

そんな時役員会を開いて内容を検討したり計画を立てて、家庭クラブ員

平成十四年度 家庭クラブ活動報告

顧問 加藤 洋 子

家庭科の学習の中で学ぶことは、人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、家庭クラブ活動をとおして男女が協力し家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てることです。

それは、身近な問題に気付くことから始まりまず、環境について学んだら分別ゴミ処理について考える。保育を学んだら将来親となる自分の今の生活を省みたり、親としての心構えを考えたりする。食物を学んだら郷土料理の調理方法や季節の料理などを考えるなど、無限にできます。

そんな時役員会を開いて内容を検討したり計画を立てて、家庭クラブ員

の活発な活動につながるように、家庭科の教員と連絡を取りながら行事を行います。今年度実施した内容、実施する行事をまとめてみます。



6-21

※ 火・金アルミ缶回収

※ 臨時家役員会

三月 三年生を送る会

一月 調理講習会

十一月 北陵祭

十二月 調理講習会

家意見発表会

六月 花壇作成

調理講習会

六月 家庭クラブ総会

県連リーダー養成講習会(栃木市)

七月 西真岡保育園実習(三年)

八月 西真岡保育園実習(三年)

九月 西真岡保育園実習(三年)

十月 県連家研究発表大会(栃木市)

西真岡保育園実習

梨狩り(三年)

家庭クラブ立会演説会・役員選挙

西真岡保育園実習

芋掘り(二年)

被服講習会

オーストラリア研修を終えて

メルボルンでの、市内見学は土井さんに分かりやすく案内してもらいました。特にパッフィンブリー蒸気機関車やフィリッポ島のペンギンパレー

二年一組 高 原 智 幸

緊張した気持ちで成田を出発しましたが、飛行機が飛ぶと、い

機や列車からオランダの風景を見ているうちに緊張や不安も無くなりました。ホテルに一泊して翌日から、リメルツさん宅でのホームステイが始まりました。酪農を営んでいるので、主に搾乳などの仕事を勉強させていただきました。何もわからない私に対し、親切に身振り手振りを交え、分かりやすく教えてくれました。家庭生活においても

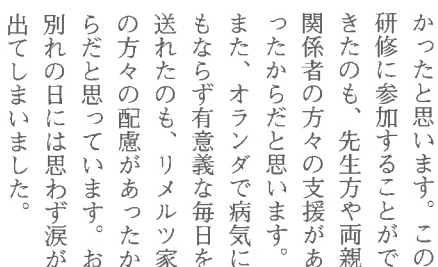
また、期間中には、オランダで十年に一度開催されるフロリアード（世界花博覧会）に行くことができました。フロリアードでは、世界の農業のトップレベルの技術を自分の目で実際に見ることができました。初めて見るものがほとんどで、驚きの連続でした。

最初とはまどいと不安の多かったこの研修ですが、参加できて本当に良

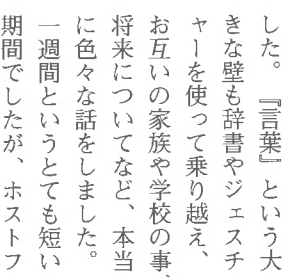
今回の研修で多くの人と出会い、いろいろな学びました。この、出会いと学びを今後の生活の中に生かし、思い出をいつまでも大切にしたいと思っています。

学んだこと

オーストラリアは、日本を出発する前からただただ大きくなるばかりだった私の期待を裏切ることの無い、本当に素晴らし所でした。色々なところを観光しましたが、どこへ行ってもオーストラリアという国の大きさを



この研修
で得た自信
や貴重な体
験を、これ
からの学校
生活や、将
来の農業経
営に生かし
て行きたい
と思います。
本当にあ
りがとうご
ざいました。

A group of approximately 12 people, likely students and teachers, are posing for a group photo. They are standing in front of a large mural that depicts a landscape with trees and a building. The group is diverse in age and appearance, and they are all smiling at the camera. The setting appears to be an outdoor or semi-outdoor area, possibly a courtyard or a large hall with a mural.

準としています。

私は、十月に行われた県予選会を勝ち抜き、この大会の出場権を得たのですが、その出来は十分なものではありませんでした。その為、私はこの大会に向け、練習を基礎

想像していたよりも大規模でない会場と、その場の和やかな雰囲気のおかげか、全く緊張することはありませんでした。そして、すぐ側に先生方と友達の姿が確認でき、安心して発表することが

き合い、ご指導してくださった先生への信頼。部活動に所属していない私にとっては、どちらも初めての経験でした。

最後に応援してくださいましたみなさん、ありがとうございました。

(第九代学校長)

先生は平成十四年十二月九日にご逝去されました。先生には本校が八幡ヶ丘から現在地に移転された時代にご尽力されました。本校でのありし日の雄姿を

英語スピーチコンテストに参加して

私は、一月十一日に東京都で行われた第十九回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト、レシテーション部門に出場しました。この大会はレシテーションとスピーチの部に分かれており、発音、イントネーション、リズム、表現、暗記を採点基準としています。

からやり直しました。一つひとつの単語の音と自分の苦手とするT、D、W、L等の音を、何度も何度も練習し、「読むのではなく、伝えること」という先生のご指導のもと、言葉に気持ちを込めたり、表現やジェスチャーをつける練習もしました想像していたよりも大

も苦笑いしかできない私に、先生は笑顔で「お疲れさま！」と言ってくれました。

結果は予選敗退でしたが、この大会に参加して得たものはたくさんありました。一つの目標に向かって、日々練習するという努力。その練習に付き合い、ご指導してくだ

創立七十周年には副会長として貢献されました。茲に、感謝と敬意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

伊藤 正司 先生
(第九代学校長)

華道部の一年を通して

三年六組 宮田友紀

私達華道部は、講師の岩倉京子先生のご指導のもと、毎週水曜日に活動してきました。

心となりますが、部員全員が協力して活動する事も大切です。

今年度の学校祭では、

十月八日には、高等学
校総合文化祭総合開会式
に参加しました。

長さんをはじめ、新役員の皆さんが選出され、同窓会も新しい体制の中でスタートしました。

「池坊」という流派で一年次には、岩倉先生のお手本から基本型を身につけます。二年次になると、基本型をもとに、自分の工夫を加えて、それぞれの個性が表現されてきます。三年間を通して活動すると、中等科のお免状を取ることもできます。今年度は三年生十七名、二年生二名、一年生七名の計二十六名で活動してきました。華道部は個人の技術を磨く事が中

会場準備から皆で力を合わせて行う事になりました。今までは、あまり交流のなかった部員と話すきっかけともなり、華道部にとって良い経験となりました。今年度から毎年、学校祭が行われますので、今後はより一層先輩と後輩の交流が増え、個人の部からまとまりのある部になっていくと思います。

この他にも七月二十六日には、栃木県高等学校

また、十一月十四日から十七日には井頭公園での生花美術展に十名参加しました。今年度は以上のような校外での活動をしてきました。

今まで多くのことを学んできて、「華道」というものは、心に安らぎとゆとりを与えてくれるものだという事を知りました。今後、多くの部員が華道を通して、心を豊かに高校生活が送れることを期待しています。

学校を中心にした地域社会も様変わりし、価値観の多様化が一層進んできました。この多様した中で同窓会報も変化を受信し発信する機関紙になさるべくこれからも努力していきますので、ご協力もよろしくお願い申し上げます。

編集委員

井野 博	井澤
館 芳衛	広田茂十
田崎 秀一	服部 和
猪野 正子	

勝田 正氏

(第二十六回卒)

同窓会顧問の勝田正さんが、平成十四年八月二十七日にご逝去されました。

伊藤正司先生

(第九代) 学校長

先生は平成十四年十二月九日にご逝去されました。先生には本校が八幡ヶ丘から現在地に移転された時代にご尽力されました。本校

編集後記

本年度は新しい同窓会
長さんをはじめ、新役員
の皆さんが選出され、同
窓会も新しい体制の中で
スタートしました。

編輯委員

井野 博 井澤 誠
館 芳衛 広田茂十郎
田崎 秀一 服部 和子
猪野 正子